

24時間 4万回の 奇跡



benoit poelvoorde les
convoyeurs
attendent

ドア開閉世界最高記録、切ないほど滑稽な記録に挑んだ人たちがいた。

第52回カンヌ映画祭監督週間正式出品作品 | 監督 フノウ・マリアーシュ 出演 フノウ・ホルファン・ド・ありふれた事件、ジャンソフランソワ・ドヴィーニョ 提供 KUZUIエンタープライズ+フエナ ビスタ ホーム エンターテイメント 配給 KUZUIエンタープライズ
1999年/ベルギー+フランス+スイス合作/94分/モノクロ/ドルビーデジタル/アメリカンビスタ/5巻2.548m

morgane simon bouli lanners dominique baeyens philippe grand'henry jean-françois devigne lisa lacroix philippe nahon

scénario benoit mariage avec la collaboration de emmanuelle bada et jean-luc seigle image philippe guilbert montage philippe bourgueil
son olivier hespel musique stéphane huguenin et yves sanna mixage philippe baudhuin décors chris cornil costumes anne fourmier

une production k-star, avec la participation de canal+ et du centre national de la cinématographie (france)
k2, rtbf (télévision belge) avec l'aide du centre du cinéma et de l'audiovisuel de la communauté française de Belgique (belgique)
cab productions, la télévision suisse romande (tsr), l'office fédéral de la culture (suisse)

ce film a été soutenu par eurimages • ©k-star/k2/rtbf/cab productions/ssr

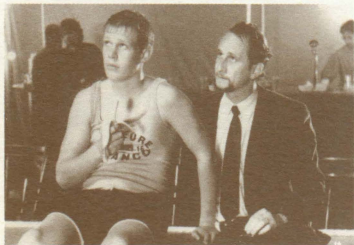


24時間 4万回の 奇跡



カンヌ映画祭監督週間

●トロント映画祭●ニューヨーク映画祭●カルロヴィ・ヴァリ映画祭●サンセバスチャン国際映画祭●シカゴ国際映画祭●ロンドン映画祭●ストックホルム映画祭…正式出品作品



人類史上最もくだらない 世界記録への挑戦

郊外にあるちっぽけな工場地帯。小さな丘からは、静かにそして黙々と灰色の煙を吐き出す工場の煙突が見える。そんな田舎町で、地元新聞のしがない三流記者ロジェは妻と2人の子供とともに暮らしている。刺激も希望もない日々の暮らしは彼の心に暗い影を落とし、言いようのない焦燥感が募るばかりだった。何の変化もなく迎えてしまった新しい時代への夜明けを前に、彼は何かを変えたい大きなコトをしてみたいと目論む。

そこで思いついたのが商店組合のコンテスト。種目制限もない上、どんなにくだなくとも世界記録を更新すれば1300ccのスポーツカーが手に入る。かくして彼は、気弱で何の取り柄もない息子ミシェルに“24時間で41,827回”というドア開閉世界記録に無理やり挑戦させることにする。新しい時代の夜明け、果たしてロジェ一家は未来への扉を開くことができるのだろうか？



愛すべき者への やさしい眼差しから溢れ出す 絶妙な詩情感

父と息子を複雑な想いで見つめる母と愛らしい娘が繰り広げる心を締めつけるほど切ない物語。本作は様々なプレッシャーを抱えながらもエネルギーに生きる一家の家長を描いた現代の寓話であり、コミカルで感動的な日々の格闘の記録でもある。

本人たちは大真面目だけれど、ハタから見ればズレまくっているユニークな登場人物たち。彼らの思いがけない行動とリアクションが生み出す奇妙な哀しみとおかしみ。そして、ドキュメンタリーを思わせるモノクロームのシャープな映像と人々を食ったようなシチュエーション。これらが絶妙なまでに融合し、抜群に力強い詩情感が全編から伝わってくる。

アキ・カウリスマキに続く ヨーロッパの新しい才能

その作風から、アキ・カウリスマキと並べて語られることもあるベルギー出身のブノワ・マリ

アージュ監督は次世代を担うヨーロッパの新しい才能として世界中の映画人から注目を集めている。これまで数多くのドキュメンタリーを手がけ、すでに短編では1997年にカンヌ映画祭国際批評家賞を受賞している。初めての長編映画となったこの作品は第52回カンヌ映画祭監督週間をはじめ各国の映画祭で大好評を博した。

また、破天荒な父親役を演じるブノワ・ポールブルドはカンヌ映画祭国際批評家賞を含め、数々の映画祭で賞を総なめにした問題作『ありふれた事件』でその名を世界に知らしめた逸材。ブノワ・マリアージュ監督の短編映画への出演がきっかけとなり、本作で主役に抜擢された。



切ない瞬間一つ一つに、笑いが散りばめられている。…… [バラエティ誌]
スタイルという点ではアキ・カウリスマキに似ているが、この映画はもっと哀しく、もっと笑える。恐るべき処女作。…… [インサイド・アウト・フィルム]
この映画は成功と満足が人間にとって何を意味するかを見せてくれる。… [N.Y.タイムズ紙]
伝統的ヒューマンリズムと予測不能なシュルレアリスムの完璧な調和。… [シネモンキー]

監督:ブノワ・マリアージュ 出演:ブノワ・ポールブルド+ジャン=フランソワ・ドヴィーニ
提供:KUZUI エンタープライズ+フエナビスタ ホーム エンターテインメント 配給:KUZUIエンタープライズ
1999年/ベルギー+フランス+スイス合作/94分/モノクロ/ドルビーデジタル/アメリカンビスタ/5巻2,548mm

5月19日(土)より奇跡のロードショー!!

1:00 2:55 4:50 6:45 特別鑑賞券1400円好評発売中!!

引き続き26日(土)よりレイトロードショー PM8:50 より(1回上映) ※但し5/31(木)のレイトは休映

シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416
シネ・ヌーヴォのホームページアドレス
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

